

「制度を考えるチーム」

6年間の活動を終えて

山元 眞 (福岡教区司祭)

宣教こそ使命

そのための制度改革

一九八七年の第一回福音宣教推進全国会議(NIC E・I)後、結成された「制度を考えるチーム」の六年間にわたる活動内容が、小冊子『明日に開く』としてまとまった。チームのメンバーで福岡教区の山元眞(まこと)神父に、チームの目指したものなどについて寄稿してもらった。

□ □

福音宣教が教会の本質的な使命の一つであること、が、一九八七年に京都で開催された「第一回福音宣教推進全国会議」で確認された。その観点から、現在

六年にわたって「制度を

ではないか」と私は実感し

すが、これは第一回福音宣

「うちには関係ない」とい

う小教区がいくつもあるで

このような観点からの見

と聖霊の働きによります。

の教会のあり方をさまざま
な方向から見直す必要が生
てかわってきたその過程

「福音宣教」であり、
「福音宣教する小教区」に
なるために、現行の制度に
どのような問題点があるの
かを明らかにすることが、
このチームに課せられた課
題でした。

チームでは、これまでの
二十三日にわたる会議でい
つもこの方向を確認してき
人の司祭を置くこと)が困

制度の見直しの理由とし
て、司祭の不足による現状
維持(現在の一小教区に一
人の司祭を置くこと)が困

重要で、そして第一の使命
であると考えます。それを
思うとき、どうしても制
度、特に小教区と教区の現
状を見直す必要性を感じま
す。

ています。制度は変わるも
のなのに、それを変えよう
としないある種の「強い
力」を感じています。

とちかくチームの出発点
は「福音宣教」であり、
「福音宣教する小教区」に
なるために、現行の制度に
どのような問題点があるの
かを明らかにすることが、
このチームに課せられた課
題でした。

制度の見直しの理由とし
て、司祭の不足による現状
維持(現在の一小教区に一
人の司祭を置くこと)が困

重要で、そして第一の使命
であると考えます。それを
思うとき、どうしても制
度、特に小教区と教区の現
状を見直す必要性を感じま
す。



小教区のさまざまな制度の見直しを求める声は、聖霊の内なる働きかけによる(写真は本文とは関係ありません)

新しくされるのは、いつ

と聖霊の働きによります。